

平成 19 年度

# 事業報告

〔 自 平成 19 年 4 月 1 日  
至 平成 20 年 3 月 31 日 〕

社団法人新潟県水産振興協会

# 平成19年度事業報告書

食の安全や自給率の向上が問題となっている中で、我が国の沿岸漁業は、国民生活に欠くことのできない動物性たんぱく食料を供給する極めて重要な使命を担っている。

そのため沿岸水域における有用魚種等の種苗放流、稚魚の成育場である藻場や漁場及び漁業と生活基盤である漁港漁村の整備、資源の適正管理による持続的利用の推進など「つくり・育て・管理する漁業」を一層強力に推進することが要請されている。

その一翼を担う当協会では、ヒラメ種苗の安定生産と中間育成による放流強化を行っており、最近のヒラメ資源は上向き傾向にあり、平成19年のヒラメ漁獲量は前年を上回る好漁となった。またアユ種苗の安定生産と配布、アワビ種苗幹旋配布放流を行ったが、昨年3月25日に村上事業所内のトラブルで、アユのへい死を招き4月以降のアユ種苗の配布に影響を与えた。

次に水産基盤整備事業推進のためブロック協議会や全国漁港漁場大会に参加するとともに国・県に対する予算措置の要請活動を積極的に行った。さらに、漁港漁場等の整備にかかる各種講習会・研修会の参加を図るとともに各種図書の幹旋を行った。

また、昨年7月の中越沖地震や今年2月の日本海を襲った冬季風浪で被害の大きかった漁協に対して、当協会では他の水産系統団体と共にお見舞金を贈った。

## 事業報告

### I 種苗生産・放流等事業分

#### 1. 種苗生産事業

##### (1) 中間育成用のヒラメ・アユ種苗生産事業

種苗名	大きさ	生産計画数 (千尾)	実績数 (千尾)	備 考
ヒラメ	体長 40 mm	560.0	1,433.9	佐渡事業所
アユ	体重 0.5 g 1.0 g	500.0 2,500.0	470.0 2,000.0	村上事業所 4月以降の配布分を含む

(2) 「真野湾海洋牧場」ヒラメ種苗生産の受託

佐渡市から「ヒラメ海洋牧場」用のヒラメ種苗、約6万尾を生産した。

2. 栽培漁業推進事業

(1) ヒラメ種苗放流

放流内容	大きさ (mm)	放流実績数(千尾)	備 考
会員自主放流	50~160	626.0	当協会生産種苗 当協会中間育成・囲網中間育成及び陸上飼育を実施
協会自主放流	50~160	748.0	当協会生産種苗 当協会で中間育成を実施
旧日栽協放流	80~104	248.4	(独)水産総合研究センター (宮津・小浜事業所生産)
合 計		1,622.4	

(2) アユ種苗放流

種苗生産区分	大きさ (g)	配布実績(千尾)	備 考
当協会生産	0.5~1.0	2,470.0	4月以降の配布分を含む

(3) アワビ・クルマエビの種苗放流

種 苗 名	大きさ (mm)	購入放流実績	備 考
アワビ	殻長 21~40	599.4 千個	佐渡市及び山形県、福島県、青森県、京都府 から購入 (4~6月放流) 山形県、青森県から購入 (10月、3月放流)
クルマエビ	—	0	秋田県から購入予定のところ 病気により中止

3. 研修会等の開催

上・中・下越の地区栽培漁業推進協議会に参加し、情報交換を行った。

- ・上越地区栽培漁業推進協議会 平成19年6月26日 上越漁協能生支所「中瀬会館」
- ・中越地区栽培漁業推進協議会 平成19年6月16日 出雲崎漁協「漁村センター会議室」
- ・下越地区栽培漁業推進協議会 平成19年5月16日 村上市「石田屋旅館」

#### 4. 市場調査

山北・岩船・出雲崎・上越・佐渡市場でヒラメの水揚調査と、体色異常調査を実施した。

#### 5. 全国豊かな海づくり大会への参加・協力

来年度新潟市で開催される「第28回全国豊かな海づくり大会」に向けてのプレ大会が9月に開催され、ヒラメ等の放流種苗を提供した。また、11月に滋賀県大津市で開催された「第27回全国豊かな海づくり大会」を視察するため職員の派遣を行った。

## II 漁港・漁場の部

### 1. 漁港漁場大会への参加

(社)全国漁港漁場協会等が主催し、毎年開催される「漁港漁場大会」等への漁港関係者の積極的な参加を求め、漁港漁場事業・海岸事業の推進を期した。

- ・北日本地区漁港漁場協議会 7月3日 富山県富山市(2名参加)
- ・第59回全国漁港漁場大会 10月16~17日 富山県氷見市(33名参加)

### 2. 水産基盤整備関係予算確保対策運動

水産業の振興と漁村の活性化を図るため、(社)全国漁港漁場協会をはじめとする水産関係団体と連携し国等に対して、漁港漁場整備長期計画の着実な推進と次期社会資本整備重点計画(海岸事業)の策定に関する要望書を提出し、併せて水産基盤整備予算確保運動に積極的に参画した。

#### [要請活動]

平成19年11月28日 東京 ホテル「ルポール麹町」

平成19年12月21日 東京 自民党本部会議室

#### [要望書]

- (1) 沖合域における国直轄の漁場造成と沿岸域と海岸域の増殖環境の整備を通じた生産力の高い漁場づくりの推進
- (2) 品質・衛生管理機能の強化等による国際化に対応した流通拠点整備の推進
- (3) 災害に強く、快適で活力ある漁村づくりの推進
- (4) 次期社会資本整備重点計画(海岸事業)の策定と海岸整備の推進

### **3. 漁港・海岸ふれあいクリーンアップ支援事業について**

漁港や隣接する海岸の美化を図るとともに、漁業者と地域住民等との交流を促進するため、地域住民やボランティア団体等の漁港・海岸等の清掃活動の支援を行った。

・糸魚川市（旧 青海町）及び佐渡市（旧 畑野町）で実施し、延べ732人が参加した。

### **4. 研修活動について**

水産庁・(社)全国漁港漁場協会・(財)漁港漁場漁村建設技術研究所・(社)水産土木建設技術センター等が主催する研修会に漁港関係者の積極的な参加を求め、技術の向上・習得を促した。

### **5. 漁港関係資料の配付及び図書の斡旋について**

(社)全国漁港漁場協会等が発行の各種刊行物並びに機関誌「漁港」・漁港漁場月報及び漁港漁場漁村ポケットブック等の会員等への配布や、関係図書の斡旋を行った。